

【恵那市学校教育の方針】

「主体性」・「社会性」・「郷土愛」
◇規律と対話のある教育
◇一人一人に確かな学力が身に付く授業
◇地域に根ざし、地域を生かす、特色のある学校

【学校の教育目標】

めあてをもち
仲間と共に
やりぬく子

【保護者・地域の願い】

- 1 元気に登校し、友達と仲良くできる子
- 2 自ら進んで学び、粘り強く頑張る子
- 3 元気な挨拶ができ、思いやりのある子
- 4 地域への愛着と誇りを抱く子

【学校の課題】

- 1 学習・生活に目標をもって主体的に物事に取り組む態度の育成
- 2 学習の基礎・基本の定着と学ぶ意欲及び思考力・表現力の育成
- 3 自他の特性を尊重し、多様性を認め合える人権感覚の醸成
- 4 仲間と協働してよりよいものを創り出そうとする意欲の育成

【学校の経営方針】

- 自己決定の場を与え、主体性を育む
「めあて」・「努力」・「発見」のサイクルによる教育活動の展開
- 自己肯定感・有用感を高めるとともに、多様性を受容する心を育む
自分に自信をもつとともに、仲間の特性を尊重する教育活動の充実
- ふるさと明智を愛する心を育む
地域とのかかわりを大切にされた教育活動の充実

【児童の実態】

○授業や係・当番活動に真面目に取り組むことができる。
○明るく素直で誰とでも仲よく生活できる。
△自分の考えを論理的に説明する力に弱さが見られる。学力調査結果に課題がある。
△生活を見つめ、自分たちでよりよくしようとする力が弱い。

【願う学校の姿】

笑顔と自信を育む学校（児童の・保護者の・地域の・教師の）

【願う児童の姿】 3つの自慢づくり→（全校の合言葉）「自分から」

あ：あさからみんなにさきどりあいさつ

け：けじめをつけてすすんでがくしゅう

ち：ちからをあわせもくもくそうじ

【経営の重点】

課題解決に向け、仲間と協働して主体的に学ぶ授業

- 45分間で、まとめと評価まで確実に進める
- 国語科（研究教科）を核とした授業改善
・言葉を手掛かりに主体的に読み深める子
- ペア学習など対話的な学びの場と方法の工夫
- タブレットを効果的に活用した主体的な学び
- 授業改善プランに基づく基礎的学習内容の定着
・家庭学習（明けチャレ）の充実

「めあてをもって頑張っている生活している」(A+B 90%)

「習った計算ができ、漢字が書ける」(A+B 90%)

居場所が感じられ、温かく居心地のよい学級

- 楽しく安全な生活のための約束作り
- 互いのよさを認め合う「よさみつけ」の実施
- 失敗してもやり直しができる環境づくり
- いじめ・不登校の早期発見、早期対応
・いじめアンケート（2か月に1回）
- 教育相談週間の実施及びQ&Aの分析と活用
- 報連相による情報共有と組織での対応（ケース会）

「楽しく学校へ通っている」(A+B 90%)

「学校は児童や保護者の相談に応じている」(保護者 A+B 90%)

人とのつながりが感じられ、主体性を育む自治活動

- とものわグループ（異学年）による活動の充実
・遊び活動の計画、実施、振り返りを通して、リーダーとフォロワーの育成
- ・縦割り掃除のめあての確認と互いを認め合う反省会
- 児童会活動、委員会活動、リーダー会の充実
・主体性を育成するための活動の目的や願いの明確化

「場に応じた言葉遣いや温かい言葉かけができる」(A+B 90%)

「思いやりのある明るい学校作りに取り組んでいる」(A+B 90%)

地域から学び、地域へ発信する活動

- 郷土愛、愛校心を育むふるさと学習の充実
・地域講師やボランティアを生かしたふるさと学習
- ・明智町のよさ（人、もの、こと）の発見と発信
- ・地域の方々への感謝の気持ちの表出
- 「浪漫学園構想」における恵那南高校、明智中学校、日本大正村等との連携した活動の充実

「自分から元気に挨拶や返事ができる」(A+B 90%)

「地域を教材にしたり、地域人材を活用したりしている」(A+B 90%)

<目指す教師像> 職員の合言葉：みんなで目標を共有し、互いに助け合い、切磋琢磨する教師

《熱意》「身に付くまで」

- ★定着の見届け 師弟同行
～「できた」という実感まで～
- ★家庭・地域との連携
～願いを共有し、共に喜び合う～

《誠意》「心に届くまで」

- ★共感的な教育相談姿勢
～共に感じる姿勢（喜び・悲しみ）～
- ★研ぎ澄まされた人権感覚
～教師が最大の言語環境となる～

《協働》「全職員で」

- ★情報の共有と動きの連動
～共通理解に基づく共通行動～
- ★校務分掌の自覚
～役割を理解し、自ら動く～

<心身ともに健康で、やりがいを実感できる職場づくり> 働き方改革明智小学校プランの推進

- 労務管理の徹底 ○業務改善の断行 ○メンタルヘルス（一人で抱え込まず組織で対応）
- ※知恵を出し合い、勤務の適正化を推進する。教職員一人一人のタイムマネジメント能力の向上を図る。